



# 好きやねん湖東

第99号

## みんなで考える防災！！





## コトナリエだより

## 宮城県と福島県の皆さんと交流会を開催！

コトナリエ開催の前日 8月2日(金)湖東コミュニティセンターで子どもの部と大人の部に分かれて鶴の詩プロジェクト交流会を行いました。

### 【子どもの部】

この交流会には、宮城県山元町の小学生4名と福島県南相馬市の高校生10名、さらに福島県須賀川市の小学生10名を迎え、湖東地区からは小学生31名と中学生6名の参加がありました。

国際ボランティア学生協会 I VUSAによる指導のもと「記念品づくり(スクラップブック)」、「ビンゴゲーム」、「名刺交換」と楽しい時間を過ごしました。

コトナリエ会場の“あんどん”には、右写真のようなメッセージや『滋賀の人たちといっぱい交流できて楽しかったです。』と感想をいただきました。

また、交流会を終えた湖東中学広報部員は「皆さん明るく気さくな方々でした。ビンゴの当たった時の顔、スクラップカードができた時の顔、すべての表情が笑顔で、とてもよかったです。初めて知り合った私にも笑顔で声をかけてもらったことは、心のどこかで残ると思います。」と感想を寄せてくれました。

すべてのこどもたちにワクワクを伝えたいというコトナリエの想いが子どもたちに届いたようでうれしく感じました。(福田)

### 【大人の部】

まちづくり協議会の防災部会では、宮城県山元町の皆さんと福島県南相馬市及び須賀川市の皆さんと交流の場を持ちました。

東日本大震災で被災された経験から被災当時の状況や現在の復興の様子をお話していただき、防災についての心構え等について色々情報をいただきました。

特に「自主防災に過度という言葉は無い」ということや「石油ストーブ、簡易コンロ、古井戸等の有効性」等について教えていただき、私たちの防災意識が大きく変わりました。

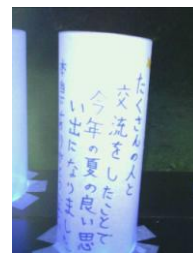
意見交換会は、なごやかなムードの中でも皆さんの真剣なまなざしが特に印象的でした。(小島)

### 鶴の詩プロジェクトとは、

コトナリエでは、2011年に発生した東日本大震災で東北に元気を届けようと「光でつなぐ元気力！復興に願いを込めて」と題して開催し、コトナリエの光がつながり、人がつながることを目的にとりくんでいるプロジェクトです。



記念品をつくる  
子どもたち



メッセージが  
書かれた  
“あんどん”



真剣に話を聞く湖東地区参加者

## まち協だより

### <防災部会>

### 備えあれば減災可能 ~DIGを開催~

防災の日の9月1日(日)、湖東地区各自治会の皆さんにDIGの講習会を開催しました。東日本大震災以来自主防災意識が強まる中での講習会であったので、たくさんの自治会関係者に参加していただきました。

訓練は、地域の地図を使いながら災害の内容と被災時の対応を自分たちで想定していくのですが、自分たちの地域で災害を受けやすい箇所を見つけ、被災時の対応に際し、どの様な準備をしておくべきかを考えやすい様に工夫されています。訓練が進むにつれてワイワイガヤガヤと議論白熱、真剣なまなざしでした。

今後、講習受講者の皆さんが各自治会でこのようなDIGを催していただけることを期待します。(小島)

※DIGについてのお問合せは、

湖東地区まちづくり協議会 事務局 担当 中村まで

TEL/FAX 0505-802-3393 メール suki-koto@e-omi.ne.jp

### DIGとは、

英語のDisaster「災害」Imagination「想像」Game「ゲーム」の頭文字をとった言葉で、地図上で大災害が発生した場合を想定し、災害対応策を考えることができる防災訓練です。



講習会の様子





## 『夏休み宿題応援教室』開催しました!

7月23日・30日と8月26日に  
夏休みの宿題をみんなと一緒にやりました。  
延べ人数、約150人の小学生がコミセンに  
集まり、勉強、工作、絵を描いたり・・・  
一生懸命がんばりました♪



真剣に取り組んでいます!



絵を描いています

工作づくり

そして、ちょっとだけ遊び



## 教室・サークルのご紹介(文化協会)

### 華道同好会1(華道)

(代表: 千藤千代子)



① 第2・4火曜 ② 湖東コミセン、先生宅  
お花は生活のうるおいです♡「お生花」から  
「自由花」まで季節の花を生けて楽しんでい  
ます。一緒に楽しんでみませんか?

① 活動日 ② 活動場所



### 錦城流湖東第1教場(詩吟)

(代表: 太田左久子)

① 毎週 火曜 午後8時~ ② 湖東コミセン  
詩吟は腹式呼吸を取り入れ、大きな声を張り上  
げて、健康的にもよく、うつぶん晴らし・スト  
レス解消にもなります。皆さん! 詩吟をやっ  
てみませんか? 仲間が皆さんを待っています♪



## 10月 さざんか学習講座

- 2日 (水) 9:00~ プラチナ(高齢者)教室
- 8日・22日 (火) 13:30~ 書道教室
- 9日 (水) 8:00~ 郷土探訪教室
- 12日 (土) 13:30~ ミラクルレディー教室
- 12日 (土) 13:30~ レザークラフト教室
- 18日 (金) 19:30~ 四季の花に親しむ教室
- 21日 (月) 19:30~ 三味線に挑戦
- 26日 (土) 10:00~ こどもクッキング教室
- 28日 (月) 19:30~ 押し花アート教室

## 11月 さざんか学習講座

- 1日 (金) 19:30~ 四季の花に親しむ教室
- 9日 (土) 10:00~ こどもクッキング教室
- 12日・26日 (火) 13:30~ 書道教室
- 16日 (土) 13:30~ ミラクルレディー教室
- 18日 (月) 19:30~ 三味線に挑戦

…ことうふるさとまつい…



## 文化作品募集!

文化の秋にちなみ、日頃の創作活動の  
成果を発表するよい機会です。

是非、あなたもご応募ください。

種目: 絵画、書、工芸、写真など

締切: 10月15日(火)

※湖東コミセン窓口にて、申込書に必要事項を  
ご記入いただき、お申し込みください。



## ニュースポーツ用具の貸出

スポーツの秋となりました! 健康でいきいきと  
した生活を送るために、コミセンでは「ニュースポ  
ーツ用具」の貸出を行っています。自治会での地域  
の親睦活動やイベントなど、また各種団体  
でもお気軽にご利用ください。





今回は、湖東フットボールクラブ（湖東サッカースポーツ少年団）を紹介させていただきます。

湖東フットボールクラブは、1981年4月に設立され、現在、小学1年生から小学6年生の約70人が、ひばり公園グラウンドにてトレーニングに励んでいます。

指導者の 山口 <sup>ひろき</sup> 公己 コーチにお話しをうかがいました。

Q. 湖東FCは、どのようなチームですか？

A. 元気がよく、サッカーが大好きな選手が多いチームです。

Q. どのようなチームにしていきたいですか？

A. 皆に愛されるチームにしていきたいです！将来トップチームに行くかないだけの価値ではなく、子ども自身がサッカーをしたいという純粋な気持ちを大切にしたいと思っています。また、子どもたちが生涯にわたってサッカーを大好きでいてほしいと思い指導をしています。

Q. 今後の抱負を教えてください。

A. ワールドカップで活躍する選手育成が目標ですが、技術だけでなくサッカーで学んだことを大人になっても実践できる選手を育てたいと思います。

Q. 一言メッセージをお願いします。

A. 時間がございましたら、ぜひグラウンドまでご観覧に来てください。

<練習時間>

水曜日 PM6:30～PM8:00 金曜日 PM6:30～PM8:30

<連絡先>

保護者代表 戸島 康博 0749-45-0787

指導者代表 小嶋 和宏 0749-45-0216



～思い出シリーズ～

～ 湖東第三幼稚園 編 ～

湖東第三幼稚園の園舎は昭和52年の5月31日に起工され、昭和53年4月5日に竣工しました。その年の4月10日に入園式が行われ、幼稚園教育がスタートしました。初めは5歳児2クラスで、はな組26名、とり組25名でした。

開園から19年間は5歳児教育のみでしたが、5歳児の人数の減少や4歳児教育の要請などから、平成9年より2年生になり、4歳児と5歳児が仲良く園生活を送ることになりました。

アルバムから当時の行事を見てもみると、「こどもの日」、「おかあさんありがとう」、「遠足」、「父の日」、「七夕」、「水遊び」、「お月見」、「運動会」、「お店ごっこ」、「クリスマス会」、「節分」など、季節や子どもの成長に合わせた楽しい行事が行われていました。平成24年度までの35年間に1327人の園児を送り出しました。

開設当時の園児の方に幼稚園のことを思い出してもらおうと、「グラウンドの築山やそのトンネルの中で、またグラウンドに埋めてあったタイヤで楽しく遊びました。大きなトーテムポールが印象的でした」と懐かしく話してくださいました。

また、湖東第三幼稚園に勤めたことのある先生は「広々とした園庭で草の管理や給食を小学校まで取りに行くことなどは大変でした。

しかし、外で元気いっぱい遊んだり、トトロの森での体験ごっこなど、自然と一体となった教育ができ、すばらしい幼稚園でした。」と語っておられました。（増田）

おとうさんとジャンケンあそび



父の日



運動会



お月見



楽しい遠足